



地場工務店のための住宅の換気と雨仕舞い

第四回

神戸睦史 (株式会社ハウゼコ)

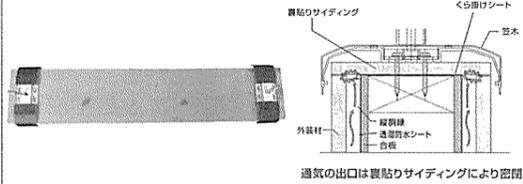
カンベ・ムツヒト:平成3年ハウスメーカーに就職し、鹿児島・大阪で勤務後、平成8年ハウゼコ入社、平成19年代表取締役社長。47歳。

今回初めてお目にかかる方向けに、現在までの流れを振り返ります。テーマは、主にルーパルコニーの問題を取り上げています。No1 手すり壁上端部の通気層が、開放系と閉塞系に分かれること No2 保険のこと No3 閉塞系納まりの問題点(試験体1、2) No4 手すり壁上端の養生(納まり) No5 手すり壁上端の養生(材料) No6 手すり壁上端の笠木のかぶり厚 No7 手すり壁上端の施工の取り合い——以上です。

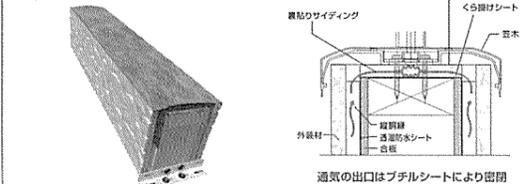
今回 No8 も、引き続き試験体の各納まりを見ていきます。試験体4の納まりは、日本窯業外装材協会(以下、NYGという)の推奨納まりです。NYGとは、窯業外装材の規格の制定及び管理を行っている団体です。この納まりは、手すり壁の外側のサイディングと笠木の間にシールをする納まりとなっています。

まず1つ目の問題点として、異種材料間(金属のアルミと窯業系サイディング)をシールしているということです。異種材料間のシールは、湿気や熱等の様々な条件による挙動にずれが生じます。2つ目に、最近の窯業系サイディングは、技術の進歩とともに凹凸感が大きくなっています。笠木の反対側が、凹凸感の大きいデザインのサイディングだとシール切れを起こす原因となります。3つ目に、サイディングの塗装の問題です。最近のサイディングは、塗装も様々な塗装があり、フッ素塗装など防汚機能がある塗装が多くなっています。汚れがつきにくいということは、シールもつきにくいケースが多くあります。4つ目に、足場の問題です。この部位の施工手順は、手すり壁のサイディング工事に次ぎて笠木工事、そして最後にシーリング工事となります。工程的には最後の工程になるため、シールをする段階では既に足場が無い物件もあります。その為、特に手すりがある場合は、シールの精度が著しく悪い場合や、シールそのものが施されないものもあります。5つ目に手すり壁内側の廻り込み風の問題です。袖壁が片方又は両方にあり軒の出が深い場合は、手すり壁内側に廻りこんだ風雨が、内側からの通気層へ浸入しやすくなります。以上5点の問題点があり

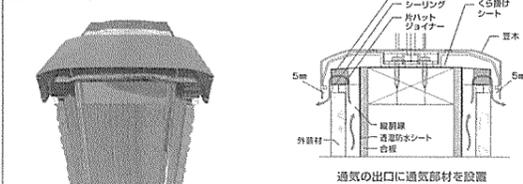
【試験体1】



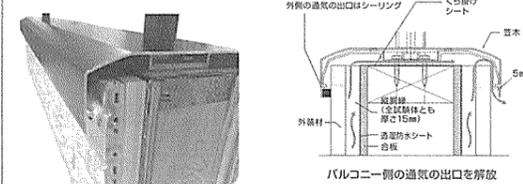
【試験体2】



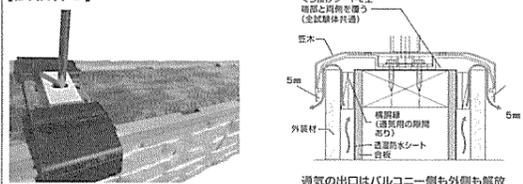
【試験体3】(アンタレスミニ仕様)



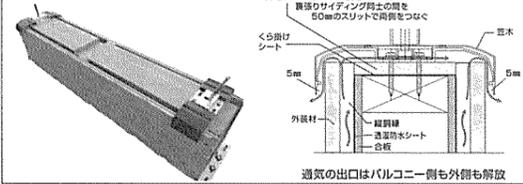
【試験体4】(日本窯業外装材協会(NYG)仕様)



【試験体5】(住宅金融支援機構仕様)



【試験体6】



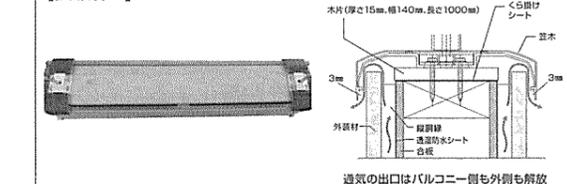
ますが、手すり壁上端に養生材が無い事や、それによって、笠木のかぶり厚が深くなる事などの良い面もあります。

No9は、試験体5を見ていきます。試験体5は、住宅金融支援機構の納まりです。2001年品確法制定の翌年に、木造住宅工事仕様書に図面が掲載されて以来見直しはしていないようです。この納まりの最大の問題点は、サイディングの張り方向で、結露と雨仕舞いについて正反対の状況が生まれるということです。つまり、横胴ぶちの時は雨水の浸入については、抑えられますが、結露リスクは高くなります。縦胴ぶちの時は、結露量は少なくなりますが雨漏りのリスクは高くなります。この図面には、たて張りサイディングの横胴ぶちの図面が載っています。写真には通気胴ぶちが写っていますが、図面は通気胴ぶちではありません。強度が下がるため、あまり通気胴ぶちは人気がありません。横胴ぶちは6尺ごとに20mmの隙間を空けることになっています。当然横胴ぶちの中央部と端部では、湿気量は中央部のほうが多くなります。また複雑な外観形状・窓位置によっては、窓上・窓下等重力換気が期待できない部位も多く出てきます。このように、サイディングの張り方向で性状が変わるのは、試験体5だけです。問題はこの納まりが、設計士が一番多く採用している納まりだということです。なぜなら、住宅金融支援機構の納まりだからです。この納まりにしておかないと、問題が起きた時に融資が取り消される場合があるからです。逆に、どんなに問題がある納まりでも、住宅金融支援機構の通り図面に書いておけば、責任の追及はされないだろうと思うのは当然です。そういった大きな役割を担っている図面が、唯一正反対の条件になってしまう納まりであるということが皮肉な結果だといえます。

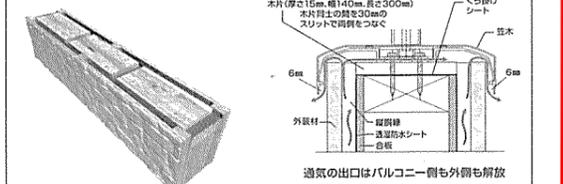
(毎月25日号に掲載します)

試験体	通気出口仕様		仕様	通気出口幅	通気胴縁	降水量(cc/m)			通気量	結果
	外側	内側				外側	バルコニー側	合計		
1	密閉	密閉	裏貼サイディングで天端を覆う。	5mm	縦	0	0	0	×	漏水はないが、通気出口を密閉している為、結露の可能性が大きい。
2	密閉	密閉	裏貼サイディングで天端を覆い、その上に防水紙シートを覆う。	5mm	縦	0	0	0	×	漏水はないが、通気出口を密閉している為、結露の可能性が大きい。
3	換気部材	換気部材	通気出口に笠木下換気部材(アンタレスミニ)を取付ける。	5mm	縦	0	3	3	○	開放型の中で漏水量が最も少なかった。
4	シール	開放	日本窯業外装材協会(NYG)「窯業系サイディングと標準施工第2版」に準拠。	5mm	縦	4	1	5	△	バルコニー側の通気出口から水が入り、手すり上端部を通り外側の通気層へも漏水。
5	開放	開放	横胴縁を使用。住宅金融支援機構の「フラット35」に対応する仕様書に準拠。	5mm	横	28	16	44	○	漏水量が多い。
6	開放	開放	住宅会社が採用していた仕様を参考。裏貼サイディングで天端を覆い、両側をスリットでつなぐ。	5mm	縦	22	17	39	△	漏水量が多い。
7	開放	開放	住宅会社が採用していた仕様を参考。木下地で天端を覆う。両側をつなぐスリットなし。	3mm	縦	38	30	68	○	通気出口の幅が3mmと他の試験体より狭いが漏水量は試験体8について多くなった。
8	開放	開放	住宅会社が採用していた仕様を参考。木下地で天端を覆う。両側をつなぐスリットでつなぐ。	6mm	縦	71	36	110	○	漏水量が最も多くなった。

【試験体7】



【試験体8】



日本住宅新聞

工務店とともに40年、我が国を代表する工務店情報紙

次々号予告 2月15日号

私の工務店経営

▼工務店・大工が読んで参考になる現場の挑戦を紹介!!

全国各地の地域ブランド住宅をピックアップ

毎月15日号連載中

◎徳富総一郎さん(工務店から見た中古流通)

◎奥田 拓司さん(全国家に学ぶ地場工務店の責務)

◎水谷 伸吉さん(住まいと森の関係)

◎竹中 雅治さん(災害を通して見えてきた森林林業の役割と課題)

◎吉田登志幸さん(住宅時評)小さな奇跡の見つけ方

◎H25省エネ基準

◎省エネ住宅ポイント

◎地域型住宅グリーン化事業

◎などなど最新情報をレポート

中谷 哲郎さん (株式会社 日本エネルギー機関)

『省エネ改修ビジネスのすすめ』

玉川 光昭さん (玉川工務店)

『できる工務店の報せる力』

井内 智哉さん (アーキプレソリューション 株式会社)

『明日からできる!!インターネットを活用した集客方法』

望月まもるさん (地域集客プロデューサー)

『売れる工務店&リフォーム会社のポスティング術』

毎月5日号 好評連載中!!

次号予告 (2月5日)